

年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭基礎	単位数	2 単位
		学年等	1 年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 開隆堂「家庭基礎 明日の生活を築く」</p> <p>資料集 第一学習社「生活ハンドブック」資料&amp;成分表</p> <p>自主教材 ワークシート</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>A 人の一生と家族・家庭及び福祉</p> <p>1 章 青年期の自立 1.2</p> <p>2 章 家族・家庭 1.2.3.4</p> <p>C 消費生活と持続可能な社会</p> <p>1章 生活を支える経済 1.2.3</p> <p>2章 消費行動と意思決定 1.2.3</p> <p>D ホームプロジェクト</p> <p>C 消費生活と持続可能な社会</p> <p>3 章 持続可能なライフスタイルと環境 1.2.3</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・ワークシートの記述分析</p> <p>・実技</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・ワークシートの記述分析</p> <p>・実技</p>	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・ワークシートの記述分析</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・ワークシートの記述分析</p> <p>・実技</p>
	評価点	100 点	100 点	100 点

後期	B 衣食住の生活と健康 1章 食生活と健康 1.2.3.4.5.6.7 2章 衣生活と健康 1.2.3.4.5 A 人の一生と家族・家庭及び福祉 3章 子どもの生活と保育 1.2.3.4 B 衣食住の生活と健康 3章 住生活と環境 1.2.3 A 人の一生と家族・家庭及び福祉 4章 高齢者の生活と福祉 1.2 5章 共生社会を生きる	・定期考査等 ・ワークシートの記述分析 ・実技	・定期考査等 ・ワークシートの記述分析 ・実技	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析 ・実技
	評価点	100点	100点	100点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	「家庭基礎」の学習について A 人の一生と家族・家庭及び福祉 1章 青年期の自立 1 人の一生と生活課題 2 将来を見通しこれからを生きる	パフォーマンス課題1 名刺作成	
	5	2章 家族・家庭 1 自分が拓く人生 2 個人・家族と地域・社会 3 家族と法律 4 持続可能な家庭生活		パフォーマンス課題2 ライフプラン作成
	6	C 消費生活と持続可能な社会 1章 生活を支える経済 1 収入と支出 2 貯蓄と負債 3 世界とつながる家計	探究活動1 持続可能な家庭生活	22
	7	◆-----第1回考査 2章 消費行動と意思決定 1 消費生活の現状 2 消費社会の落とし穴 3 行動する消費者	探究活動2 持続可能な消費生活	
	8	D ホームプロジェクト	パフォーマンス課題4 グーグルスライドを使ってホームプロジェクトをプレゼンテーション	
	9	C 消費生活と持続可能な社会 3章 持続可能なライフスタイルと環境 1 消費生活の裏側で 2 消費者として取り組む 3 持続可能な社会とライフスタイル	実習1 持続可能なエコラップを作ろう	16

後 期	10	B 衣食住の生活と健康 1章 食生活と健康 1 日本の食生活の今 2 五大栄養素の働きと食品 3 おいしさと安全の科学 4 さあ 料理を始めよう 5 料理の組み合わせを考えよう	実習 2 調理実習	16	
	11	6 多様な食文化 7 持続可能な食生活 2章 衣生活と健康 1 人間と被服 2 被服の科学と管理 3 被服の選択と安全 4 被服を活用するために 5 持続可能な衣生活	探究活動3 持続可能な食生活  実習 3 被服実習		
	12		探究活動4 持続可能な衣生活		
	第3回考査				
	1	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 3章 子どもの生活と保育 1 子どもの世界 2 育つ子ども 3 子どもとかがわる 4 子どもの育ちを支える	パフォーマンス課題5 子どもへの接し方を考えよう。		
	2	B 衣食住の生活と健康 3章 住生活と環境 1 人と住まい 2 健康で快適、安全な住まい 3 持続可能な住生活	探究活動 5 持続可能な住生活		
	3	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 4章 高齢期の生活と福祉 1 さまざまな高齢期 2 高齢者の生活と福祉	実習 4 高齢者疑似体験		
		5章 共生社会を生きる —誰もがその人らしく生活する—	探究活動 6 持続可能な共生社会		
	第4回考査				

## 5 その他

- 1日に2時間連続で授業があります。
- 毎時間のワークシートの内容、授業規律の定着度(調理実習時の服装も含む)、授業への取り組み、定期考査、課題、提出物の状況を総合的に判断して評価します。